

陳 情 書

【陳情趣旨】

貴自治体におかれましては、日頃から市民の生活向上のためご尽力いただいていることに感謝申し上げます。

さて、私ども、こまえ社会保障推進協議会は2013年に創立し、2015年からは、所属の8団体から要望を出し合い、狛江市職員さんと懇談を持たせていただいていた。しかし、2021年から突如、「特定の団体とはお会いしない」と秘書広報室の方から言われ、理由を尋ねると、「懇談の開催などをすることで残業が増え、働き方改革に影響する」という返答がありました。そもそも地域や市民の要望に応え、リニアにその対応をしていくのが自治体の長や市議会議員の役割かと存じております。第1回目の懇談などは、市側から課長も含め、18人もの方々にご参加いただき、当初、要望を聞くだけと仰っていたのに、丁寧に説明をしてくれるような対応をしていただきました。コロナの最中も、2回にわけて、密にならないような工夫をしてもらい、懇談を継続してきたところです。毎年、要望書はメールでお送りし、必ずご返答はいただいておりますが、文書だけの簡易的なものです。やはり、市民とは面と向かったやりとりで細かいニュアンスも伝わるというものかと思えます。

したがって、今後も懇談が出来る環境を作っていただくよう、要望致します。委員会などでは意見の取り交わしもあまりなく、否決される事がしばしばですので、真剣な討議をお願いしたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。

【陳情項目】

- 1、予算要望などの懇談を、地域の団体と開催出来る環境を作ってください。